



## 米沢市報道資料

---

令和6年11月8日

秘書課

電話 22-5111（内線）2900

- ①11/11 市長定例記者会見について
  - ②ペーパークラフト展示取材依頼について
- 

① 11/11実施の市長定例記者会見について次のとおりお知らせいたしますので、御対応よろしくをお願いいたします。

○開催場所：市長応接室

○内 容：

- (1) 懇 談(内容に応じて録音・メモの可否があります。)

※発表(情報発信)事項はありません。

※動画配信はありません。

② ペーパークラフト展示オープニングセレモニー取材依頼について

中村隆行氏が製作した旧児童センターを再現したペーパークラフトを市役所1階市民ホールで展示します(詳細は別紙のとおり)。

今回の記者会見終了後、14時 15 分から展示場所付近でオープニングセレモニーを行いますので、是非取材いただきますようお願いいたします。

# ペーパークラフト展示

## ～懐かしの旧児童センターを再現～

当時の写真や関係者の証言を基に忠実に再現して作られた、昔懐かしい旧児童センター（1957～1971年）のペーパークラフト作品を、作者である中村隆行さん（本市在住）のご厚意により、市役所で展示することになりました。

展示期間などをお知らせしますので、素晴らしい作品をぜひご鑑賞ください！

- **展示場所** / 市役所 1階市民ホール
- **展示期間** / 11月11日(月)～令和8年6月30日(火)
- **オープニングセレモニー** / 11月11日(月) 14時15分 (セレモニー終了後から、作品をご鑑賞いただけます。)



## 児童センターとは？

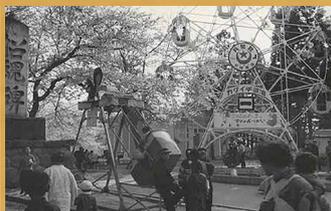
児童センターは、かつて松が岬公園の一角にあった遊園地です。戦後、小学校教員であった高森務らが「子どもたちのための遊び場が必要だ」と訴えたのを



きっかけに、昭和32年（1957）、松が岬公園の招魂碑がある場所にオープン。観覧車、豆電車、後に空中ブランコなどが整備され、当時の県内で唯一の本格的な遊園地として、人気を博しました。

昭和46年（1971）に15年の歴史に幕を下ろしましたが、当時の子どもたちにかげがえのない経験と思い出を残しました。

そして児童センターに託された思いは、昭和58年（1983）に開館した米沢児童会館に今も受け継がれています。



「米沢100年」より

## 作者 <sup>なかむら たかゆき</sup> 中村 隆行 氏

ペーパークラフト作家。昭和32年米沢市に生まれ、大学卒業後、設計事務所や地元の商事会社に勤める傍ら、ペーパークラフトの制作を行う。平成28・29年には山形県美展に入選。還暦を機にペーパークラフトの創作活動に専念。山形県内のみならず、全国で個展や出展を行っている。



『私の造る作品の多くは、ITとは無縁な時代、誰もが経験したであろうさり気ない日常の一コマを切り取ったものです。』

そして、「昔は良かった」ではなく、「昔もよかったのよ!」といったスタンスで作りに上げております。

過ぎ去った昔への郷愁もありますが、近代化によって失われてしまった物の豊かさ、価値、本来何を幸せとして生きるのか？

作品を見ていただいた方々に、そんな想いを喚起し、考えるきっかけとなれば幸いです。』

(中村氏のホームページ「紙わっさ」より抜粋)



▶ 「紙わっさ」